

# 予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：総務費 項：企画開発費 目：スポーツ振興対策費

## 事業名 スポーツ科学センター備品整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

競技スポーツ課 アスリート発掘・育成係

電話番号：058-297-7003

E-mail：c11173@pref.gifu.lg.jp

### 1 事業費

6,199 千円 (前年度予算額： 6,707 千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	6,707	0	0	0	0	0	0	0	6,707
要求額	6,199	0	0	0	0	0	0	0	6,199
決定額	6,199	0	0	0	0	0	0	0	6,199

### 2 要求内容

#### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

岐阜県スポーツ科学センター (GSSC) 及び分館である御嶽濁河高地トレーニングセンターの機能向上・維持を図るため、測定用・トレーニング用機器の整備を行う。

#### (2) 事業内容

以下の備品を購入する。

- エアロモニタ1式
- リアルタイム心拍モニターライセンス2式 (GSSC・御嶽濁河高地トレーニングセンター)
- デジタルカメラ4Kビデオカメラ1台
- セカンドプルラック1セット

(3) 県負担・補助率の考え方  
県10/10 (県有施設の整備であるため)

(4) 類似事業の有無  
無

### 3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
備品整備費	5,495	エアロモニタ 1 式
		デジタルカメラ 4 Kビデオカメラ 1 台
		セカンドプルラック 1 セット
使用料	704	リアルタイム心拍モニターライセンス 2 式
合計	6,199	

### 決定額の考え方

### 4 参考事項

#### (1) 後年度の財政負担

岐阜県スポーツ科学センターの機能向上と維持を図るため、整備計画を基本とし、測定対象となるトップアスリート等のニーズを踏まえながら計画的に整備していく。

# 事業評価調査書（県単独補助金除く）

新規要求事業

継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか

岐阜県スポーツ科学センターの機能向上・維持のため、科学トレーニング計測にかかる測定備品について計画整備を行う。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前 (R)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R)	達成率
①						
②						

### ○指標を設定することができない場合の理由

機器の状態により整備機器の変動が発生することから、目標設定は困難。

### （これまでの取組内容と成果）

令和4年度	リアルタイム心拍モニターや体成分分析装置をはじめ、測定機器の整備を行った。これらの機器の導入により、ジュニア層やトップアスリートのスキルチェックの向上が図られ、県のスポーツ科学トレーニング体制の拡充に寄与した。これまでに整備された機器は、今年度、県が強化指定した、個人34人、14団体に対し、延べ919回のサポートに使用された。
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %
令和5年度	令和7年度当初予算にて追加
	指標① 目標：___ 実績：___ 達成率：___ %

## 2 事業の評価と課題

### (事業の評価)

<p>・ <b>事業の必要性</b> (社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断)  <small>3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない</small></p>	
(評価) 2	<p>岐阜県スポーツ科学センターにおける運動能力測定体制を、トップレベルで維持するため、最新機器の整備・更新が必要。</p>
<p>・ <b>事業の有効性</b> (指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか)  <small>3：期待以上の成果あり                  2：期待どおりの成果あり                  1：期待どおりの成果が得られていない                  0：ほとんど成果が得られていない</small></p>	
(評価) 2	<p>最新機器の整備・更新により、最先端の運動能力測定機能の拡充が図られた。</p>
<p>・ <b>事業の効率性</b> (事業の実施方法の効率化は図られているか)  <small>2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている</small></p>	
(評価) 2	<p>備品は、経年劣化も進んでいるが、使用に際に安全性の支障が出ている物等必要最低限とし、効率的に実施している。</p>

### (今後の課題)

<p>・ <b>事業が直面する課題や改善が必要な事項</b>                  現行機器は経年劣化により故障が多く、また映像解析等の技術進歩により、求められる機能を満たしていないため、整備・更新が必要となる。</p>
--

### (次年度の方向性)

<p>・ <b>継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</b>                  次年度以降も、現在の規格に適合せず業務に支障が出るなど、現在の使用に耐えない物件に絞り、機器整備・更新を要求する。</p>
--

### (他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

<p>組み合わせ予定のイベント 又は事業名及び所管課</p>	【〇〇課】
<p>組み合わせて実施する理由 や期待する効果 など</p>	